

那須塩原市営バス運行計画（案）に関するパブリックコメント（意見募集）の結果について

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成18年8月21日（月）～平成18年9月20日（水）
- (2) 意見の募集者数 14名
- (3) 提出の方法

郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
5	2	7	0	14

2 意見の概要と市の考え方

【1】運行計画全体について

（公表コメント）

No	意見概要	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車社会が進展する中で、超高齢化社会の進展や地球温暖化など社会情勢の変化に対応し、できるだけコンパクトな都市を維持し、公共交通機関をフルに活用する考えはとても重要であると考え。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も運行路線の評価・見直しを行うとともに、他の公共交通機関との連携、環境への配慮について継続的に検討してまいります。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行コースを高齢者住宅地へ入り込ませて欲しい。 ・ 市営バス利用者は高校生か高齢者に限定されるが、いくらバス路線を検討してもバス停まで遠ければ足腰の弱い高齢者は利用できない。市営バスは必要最低限に考えて、自宅送迎のタクシーや送迎バスを是非検討して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市営バスは「路線バス」という手法で運行することになりますので、運行コースについて、すべての要望に応えることは難しい状況です。バス以外の手法については、関係機関等と調整を図りながら研究していきたい考えです。

3	<ul style="list-style-type: none"> 大田原市、那須町など近隣市町村と共同で、相互乗り入れを行うなどデータ等を活用しながら広域的に考えた方が良いのではないかと。例えば、市外からの観光客等が利用しやすいように塩原温泉～西那須野～大田原市などの路線 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の計画は、那須塩原市内の市営バス運行を対象としております。公共交通機関としての市営バスの利便性向上や利用促進のための貴重なご意見として、今後の研究の参考にさせていただきます。
4	<ul style="list-style-type: none"> 病院やスーパーだけでなく、診療所や外食店等にも便利な停留所の設定をして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 停留所については、道路や沿線施設等の状況を勘案しながら、できる限り利便性の高いものとなるよう配慮いたします。
5	<ul style="list-style-type: none"> 初めてバスを利用する場合、バス停の位置が分からなくて利用し難いため、バス停を目立つように工夫するか、広報に併せてバス停の位置を示す簡易地図を配布して欲しい。また、主要施設内に「バス停はこちら」という誘導看板を設置して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 停留所の場所も含め、分かりやすいバス停の設置を心がけるとともに、広報誌等によるPRを行っていく考えです。

【2】既存市営バスの運行計画について

No	意見概要	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> 現在、湯宮から宇都宮駅方面へ行く場合に湯宮線を利用しているが、本数が少なく、時間も掛かるため不便を感じていた。那須塩原駅経由黒磯駅行きであれば便利となるため、改善を強く求めたい。今後団塊の世代がセカンドライフとして長期滞在型にするためには、利便性の確保が極めて重要ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の便について、那須塩原駅へ直接乗り入れる計画とする考えです。
2	<ul style="list-style-type: none"> 従来通りに文化会館発着にして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 黒磯文化会館は路線の経由地として停留所を設置いたします。
3	<ul style="list-style-type: none"> 車が運転できないなどの理由から湯宮線の路線を那須高原クリニック入口に変更してもらえないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該地については、湯宮線的那須塩原駅延伸及び新規路線の経路地となっておりますので、停留所の設置にあたっては道路状況や周辺の状態を考慮しながら、利便性の高いものとなるよう配慮いたします。

【3】新規路線運行計画について

① 計画全体について

No	意見概要	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> 新規バス路線（黒磯駅～西那須野駅）を東西方向の基幹路線として整備した上で、南北方向にある市営バス6路線の見直しを行いながら、中長期計画を完成させるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規路線の開設とあわせて利便性の向上を図るため、既存路線の見直しをあわせて実施いたします。 ご意見は、今後の路線の検討・研究の参考にさせていただきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 既存の東野交通、JRバス関東と連携を図りながら、運行計画を立案するべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画においては既存の路線バス運行事業者との連携を図ることとしており、できる限り調整を図っていく考えです。
3	<ul style="list-style-type: none"> 黒磯駅、那須塩原駅及び西那須野駅を起点として病院、市役所、買物などへ自由に行くことが出来ればもっと活性化すると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 市施設及びJRの三駅などの主要施設や経路上の病院・スーパー等の状況を考慮しながら路線及び停留所の設置を行なっていきます。
4	<ul style="list-style-type: none"> バスと鉄道との役割分担が不明確である。 電車は長距離移動、バスはコミュニティバスと位置づけるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画では、市営バスは郊外にあたる地域と市街地周辺の主要施設及び市街地（駅）間の輸送を担う、いわゆるコミュニティバスの役割を果たすものとしておりますので、計画においても「コミュニティバス」としての位置づけを行います。
5	<ul style="list-style-type: none"> 大田原市営バスのように循環方式は乗車時間が長く利用し難い。自宅～駅、自宅～主要施設という両方の利用者を満足させる適切なルートであると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続的に利便性の高い路線となるよう研究を行っていく考えです。
6	<ul style="list-style-type: none"> 利用者を増やすには交通結節点を結ぶことが当然だが、交通結節点までの交通手段も必要である。 そのため、人口が多く住んでいる地域を中心にループ的な路線により多様な人の利用を見込むべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地をループ状に運行することは目的地への速達性等、所要時間の関係から、今回の計画には盛り込んでおりません。 貴重なご意見として、今後の市内公共交通及び移動制約者対策の検討のための参考にさせていただきます。

② 設定ルートについて

No	意見概要	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> 新規バス路線の停留所をスーパーオートニ前にも設置して欲しい。この付近には大原クリニック、みずぬまクリニック、原クリニック等歯科・医院があり、買物などにも便利な地域である。JRバス関東の路線も通過（三島～西富山）してしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該地については新規路線の経路に隣接しておりますので、停留所の設置にあたっては道路状況や周辺の状況を考慮しながら、利便性の高いものとなるよう配慮いたします。
2	<ul style="list-style-type: none"> 現在、新幹線駅那須塩原駅から塩原地区への直通バスがなく、不便な状態のため、那須塩原駅～高林～アグリパル～塩原支所の路線を開通して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の採算性などの点から、那須塩原駅～塩原温泉地区への直通バスについては、今回の計画には盛り込んでおりません。 今後の市営バス路線検討のための貴重なご意見として参考にさせていただきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> 西那須野地区については、西那須野支所、太夫塚公園、三島ホール、医療福祉病院、槻沢公民館、長寿の湯及び西那須野駅を接続するようにして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 西那須野支所、西那須野駅、国際医療福祉病院を経由する路線を計画しております。 その他の施設については、今後の市営バス路線検討のための貴重なご意見として参考にさせていただきます。
4	<ul style="list-style-type: none"> 健康長寿センターはJRバス関東も運行しておらず、母子・高齢者中心の施設であるため、停車して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該施設については専用の送迎バスが運行されていることから、今回の路線計画には入っておりませんが、今後の市営バス路線検討のための貴重なご意見として参考にさせていただきます。 ご理解をお願いいたします。

③ 運行サービスについて

No	意見概要	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> 高齢交通弱者にとどまらず、学生、主婦、ビジネスなど生活全般にわたって利用できる公共交通ネットワークを目指すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の中では、交通弱者は高齢者に限定するものではなく、自らの移動手段を持たない方々としております。 市営バスは公共交通ネットワークの一部を担う交通機関であると考えており、できる限り利便性の高いものとなるよう研究していきたい考えです。

2	<ul style="list-style-type: none"> 事業採算性を確保するには利用者の増加がポイントであり、新たな需要を創出していくことが必要である。 運賃体系の工夫（距離制、学生・高齢者料金の設定など）により、マイカーからの転換を図れるレベルのネットワークが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画では、現行と同様に利用者に分かりやすい均一料金制とし、利用促進を図るための一日乗車券、共通パス券の発行などを予定しております。 市営バスの利用促進のための貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> この路線は需要が見込める路線であると思うので、運行時間帯は、通勤、通学目的に対応するように、午前6時から午後8時までに変更して欲しい。 朝早くの時間から、夜の遅い時間まで運行して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画では午前7時台～午後7時台での運行としていますが、実際のダイヤ編成では通学時間帯等を考慮しながら、できる限り利便性の高い路線となるよう運行時間の検討を行います。
4	<ul style="list-style-type: none"> 運行時間帯は適切だと思う。但し、通勤時間帯を除いてパターンダイヤ（毎時、同じ時間）にすれば、ダイヤを覚えなくても良いので便利ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 路線状況や運行車両数の関係からパターンダイヤの設定は難しい状況です。 利便性向上のための貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。
5	<ul style="list-style-type: none"> 車両デザインは、バス利用促進や街の雰囲気が明るくなるなどにも寄与するため、見ているだけで楽しくなるようなカラーやデザインにして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的に好感を持っていただける車両のデザインや利用しやすい車両を導入することは、利用者の増加につながるものと考えています。 車両を導入する際の貴重なご意見として参考にさせていただきます。
6	<ul style="list-style-type: none"> 車両のシートレイアウトは、横向きタイプの方（お年寄りが座りやすい、席を譲りやすい）が良いと思う。 	

【4】 中長期整備における市営バス整備の基本的な考え方について

No	意見概要	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> 見直し期間は、5年という固定的な期間を設けなくて、市民アンケートにより、2年程度で見直すなど臨機応変に検討する必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 大幅な路線の見直しについては、5年をめどに実施する予定となっておりますが、改善の可能な事項については、適宜見直しを実施し、利便性の向上を図っていく考えです。

2	<ul style="list-style-type: none"> 短期のみならず5年後、10年後の中長期を見据えた上で公共交通ネットワークを形成していくことは賛成。その際、新市の行財政計画、都市計画、人口動向等を見据えて計画を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市総合計画等との整合性を図るとともに、人口動態などを参考にしながら、公共交通ネットワークの一部を担う市営バスのあり方を検討していく考えです。
3	<ul style="list-style-type: none"> ホテル、旅館送迎バスは空車で那須塩原駅へ向うため、市民も同乗できるように働きかけた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通弱者の利便性向上のための貴重なご意見として参考にさせていただきます。
4	<ul style="list-style-type: none"> 停留所付近に駐車場を設置する「パーク&ライドシステム」の活用を検討してはどうか。 マイカーを相乗りする「アウア・カー (Our Car)」あるいは「カー・シェアリング」策への助成制度を検討してはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地等における交通渋滞の緩和・環境の保全に資すると考えます。貴重なご意見として参考にさせていただきます。
5	<ul style="list-style-type: none"> 料金はゾーン制を採用してゾーン内を現在の物価感覚で100円とし、消費の利便性を高めてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 原則的に現行の料金体系に加え、一日乗車券、共通パス券の発行などを行っていく考えです。 市営バス利用促進のための料金体系を検討する際の貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。
6	<ul style="list-style-type: none"> ノンステップ&電動リフトリフト付車両の導入を検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規路線については、高齢者等に配慮した低床・ノンステップの車両導入を計画しています。 今後、車両を導入する際の貴重なご意見として参考にさせていただきます。
7	<ul style="list-style-type: none"> 運行計画立案・推進するに当たっては、専門家集団である NPO の育成や組み入れなどについて検討する必要があると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 市営バスの利便性向上や利用促進のための貴重なご意見として参考にさせていただきます。